

新規就農者の動向について

平成29年8月29日作成

宮城県農林水産部農業振興課

- 1 平成28年度の新規就農者数 183名 (うち認定新規就農者※ 30名)
(平成28年4月1日～平成29年3月31日) ※市町村で認定を受けた認定新規就農者

2 新規就農者の推移

年度	元	H5	H10	H15	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
人数	32	40	61	74	80	97	102	113	172	179	170	173	183

※調査対象年齢：平成9年度までは40歳未満，10年度から17年度までは55歳未満，
18年度は60歳未満，19年度からは65歳未満

3 男女別・年代別

	男性	女性	10代	20代	30代	40代	50代～	合計
自営就農者	37	3	0	18	16	4	2	40
雇用就農者	83	31	13	54	32	12	3	114
新規参入者	21	8	0	6	12	9	2	29
合計	141	42	13	78	60	25	7	183

※自営就農者：農家出身者で，自家農業（一戸一法人も含む）に就農した者。

雇用就農者：農業法人等で雇用されて就農した者（パート，アルバイト等の非正規雇用は除く。農家出身，非農家出身を問わない）。

新規参入者：非農家出身で農地の取得等により新たに農業経営を開始した者や，農家出身者であっても，親等の経営基盤によらず，自ら農地や施設の取得等を行い新たな農業経営を開始した者。

4 新規就農者の動向

- (1) 平成28年度の県全体の新規就農者数は183人（前年差+10人）であり，平成24年度以降県の新規就農者の確保目標（年間130人）を上回る高い水準で推移している。
- (2) 年代別では，10歳代～20歳代は91人（前年差+10人），30歳代は60人（前年差-6人），40歳代は25人（前年差+7人），50歳代は7人（前年差-1人）となり，10歳代，20歳代，40歳代の年代で前年度と比較して増加した。
- (3) 就農形態別では，雇用就農者は114人（前年差-1人）と前年度と比較して減少したものの，全体の62%を占めている。自営就農者は40人（前年差+5人），新規参入者29人（前年差+6人）と前年度と比較して増加した。

5 農業改良普及センター別

普及センター	自営就農	雇用就農	新規参入	合計
大河原	7	13	6	26
亘理	1	20	3	24
仙台	1	21	6	28
大崎	5	6	6	17
美里	2	4	3	9
栗原	10	10	1	21
登米	5	24	2	31
石巻	9	16	2	27
本吉	0	0	0	0
合計	40	114	29	183

6 営農部門別

営農累計	自営就農	雇用就農	新規参入	合計
水稻	9	32	0	41
野菜	14	48	22	84
花き	0	2	1	3
果樹	0	0	2	2
肉牛	10	10	3	23
酪農	7	4	0	11
養豚	0	10	0	10
菌茸	0	8	0	8
その他	0	0	1	1
合計	40	114	29	183

※ 複数経営の場合には、そのうちで主な部門としている。また、雇用就農者の場合には、雇用先の主な部門または雇用就農者が従事している部門としている。